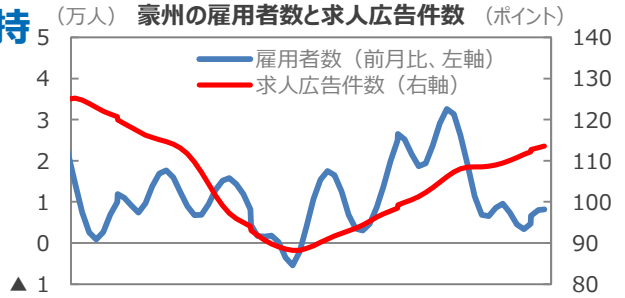


今日のトピック 資源価格上昇の恩恵を享受する豪州経済（2017年1月）
国内経済は緩やかな拡大、豪ドルは底堅い展開へ

ポイント1 雇用は緩やかな改善基調維持
増加傾向にある求人件数

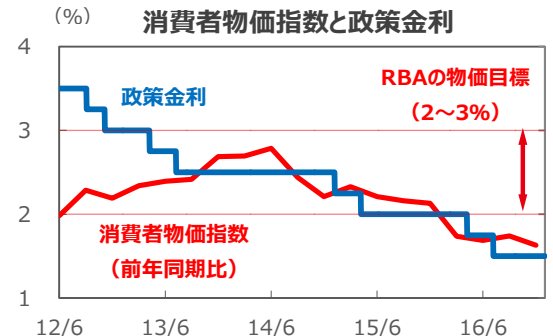
- 2016年12月の雇用者数は前月比1.3万人の増加、豪州準備銀行（RBA）が重視するトレンド値（月ごとの変動を均した政府の公表値）は同0.8万人の増加でした。トレンド値は16年8月の0.3万人増を底として緩やかな改善傾向を示しています。
- 今後、雇用の増勢は徐々に加速すると予想されます。豪州の主力輸出品である鉄鉱石や石炭といった資源価格の持ち直しにより、これまで景気の足を引っ張ってきた資源セクターの回復が見込まれるためです。実際、企業の求人広告件数は増加基調にあります。



(注) データ期間は2010年1月～2016年12月。雇用者数は政府公表のトレンド値。求人広告件数はオーストラリア・ニュージランド銀行作成のトレンド値。2010年1月=100として指数化。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 政策金利は据え置き予想
物価上昇率は緩やかな加速へ

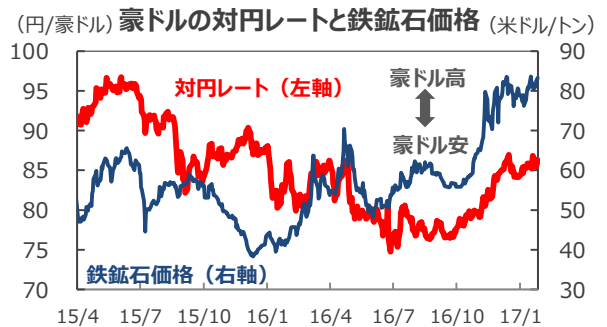
- 豪州の消費者物価上昇率は、RBAの目標値である+2%～+3%の下限を下回った状態が続いています。しかし、エネルギー関連品目の価格上昇などにより、今後は目標レンジに向かって徐々に高まる見通しです。このため、RBAは少なくとも年内いっぱい政策金利を、現行の1.50%で据え置く公算が大きいと考えられます。



(注1) 消費者物価指数は2012年4-6月期～2016年10-12月期。消費者物価は異常値をつけた項目を除外したトリム平均値。
(注2) 政策金利は2012年6月30日～2017年1月26日。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 資源価格が豪ドルを下支え

- 中国での需給改善等から資源価格が持ち直してきたうえ、トランプ大統領の拡張的な財政政策の効果で米国、ひいては世界経済の拡大ペースの加速が見込まれること、日銀の緩和スタンス継続に対しRBAは中立スタンス維持が予想されることなどから、豪ドルの対円相場は底堅く推移する見通しです。



(注) データ期間は2015年4月1日～2017年1月26日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年1月6日 豪ドルの足元の状況と今後の見通し
2017年1月5日 豪州の債券市場（2017年1月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。